

第 3 章

氣 象

1. 兵庫県南西部の気象

兵庫県南西部における令和7年度の気象経過は次のとおりであった。

令和7年度は、年間を通じて暖かい空気に覆われやすく平均気温は高くなり、記録的な高温の年となった。また、高気圧に覆われ晴れた日が多かったため、日照時間も多くなり、記録的な多照となった。春季は暖かい空気に覆われやすかったため、気温は高くなった。春から盛夏期に向かう季節の進行が早く、5月17日ごろ梅雨入り、6月27日ごろ梅雨明けとなり、統計開始以降、最も早い梅雨入り、梅雨明けとなった。夏季は梅雨前線の活動が弱く、太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多くなり、気温が高く、日照時間も多くなった。秋季も暖かい空気に覆われやすかったため、気温は高くなった。冬季は冬型の気圧配置が長続きせず低気圧や前線の影響を受けにくく、高気圧に覆われやすかったため、日照時間は多くなった。特に1月は低気圧の影響を受けにくく少雨となった。

4月の上旬と中旬は気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かったが、下旬は高気圧に覆われ晴れた日が多かった。平均気温は平年より高く、日照時間も平年より多く、降水量は少なくなった。

5月は低気圧や湿った空気の影響で曇りや雨の降った日が多く、特に9日と24日は大雨となった。平均気温は平年より高く、日照時間と降水量は平年並みであった。

6月は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の降った日が多く、特に3日と10日は大雨となった。平均気温は平年より高く6月の「月平均気温」の最高記録を更新した。日照時間も多く、降水量は平年より少なくなった。

7月は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、湿った空気の影響で曇りや雨の降った日もあり、14日は大雨となった。平均気温は平年より高く7月の「月平均気温」の最高記録、また、日照時間も平年より多く7月の「月間日照時間」の最高記録を更新し、降水量は少なくなった。

8月は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、上旬の後半から中旬の初めにかけては、前線や湿った空気の影響で曇りや雨となり、7日、8日、10日、11日は大雨となった。平均気温は平年より高く、日照時間と降水量も平年より多かった。

9月は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。5日は台風第15号の影響、9日から10日にかけては前線や湿った空気の影響で大雨となった。平均気温は平年より高く、日照時間、降水量は平年より少なかった。

10月は上旬と下旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や湿った空気の影響で曇りや雨の降った日が多く26日と31日は大雨となった。平均気温は平年より高く、日照時間は少なく降水量は平年より多かった。

11月は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、寒気や湿った空気の影響で曇りや雷雨の日もあった。平均気温は平年並みで、日照時間は多く、降水量は少なくなった。

12月は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、寒気や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。しかしながら、冬型の気圧配置が長続きせず暖かい空気が流れ込みやすかった

ため、平均気温は平年より高く、日照時間は多く、降水量は少なかった。

1月は冬型の気圧配置となった日が多く、晴れや曇りの日が多かった。平均気温は平年並みで日照時間は多く、降水量は少なくなり「月降水量」の最低記録を更新した。

2月の上旬から中旬は冬型の気圧配置となる日が多く、晴れた日が多かった。下旬は気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、24日から25日にかけて、前線や低気圧の影響で大雨となった。平均気温は平年より高く、日照時間は多く、降水量は多かった。

3月の上旬から中旬は寒気や湿った空気の影響で、曇りや雨の降った日が多かったが、下旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。3日は低気圧や湿った空気の影響で大雨となった。平均気温は平年より高く、日照時間は多く、降水量は平年並みであった。

(資料提供：姫路エコテック㈱)

2. 赤穂の気象

令和7年度の市北部での気象測定結果は、表3-1-1に示すとおり、年間平均気温が16.0℃、最高気温が8月の35.9℃、最低気温が1月の-5.5℃で、前年度と比べて年間平均気温は0.1℃、最低気温は0.7℃それぞれ高くなり、最高気温は1.2℃、低くなっている。年間湿度は79%で前年度より1%低くなっている。年間降水量は976.0mmで前年度(1,360.5mm)と比べて384.5mm少なくなっている。

3. 風向風速の状況

本市は、赤穂コールドロンの跡にできた町で、三方が200～400mの比較的標高は低いが起伏の多い山地で囲まれ、南は海に面し、海岸から背後山麓までわずか2～4kmしかなく、市の中央部は千種川をはじめ中小河川が貫流している等の地形条件にあり、市内各地点の風向は複雑な動態を示している。

年間の風配(表3-1-2風向特性等解析表及び図3-1-2年間風配図参照)を見ると、市役所は東北東方向、塩屋は北方向、尾崎は北北西方向、天和は西北西方向、高雄は北方向、大津は北西方向、有年は南方向、下水管理センターは北北東方向がそれぞれ卓越している。また、大津と坂越は地形の影響をかなり強く受け、大津では北西から南東へかけての谷あい位置しているため、四季を通じて北西方向の風が卓越しており、坂越では東側に位置する千種川とその兩岸の山地の影響を受け、年間を通じ東方向の風が卓越している状況である。

年間平均風速は、1.5～2.7m/secとなっている。(表3-1-3参照)各地点ともに季節的な変化はあまり認められず、静穏の出現頻度も1.1～10.9%となっている。

表 3－1－1 気象測定結果（北部：有年中学校）

（令和 7 年度）

項目\月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間	
温度	平均	13.9	18.5	23.6	28.4	28.3	25.6	19.0	10.5	6.3	3.2	5.7	8.5	平均	16.0
	最高	25.6	30.3	32.3	35.4	35.9	33.9	29.6	21.5	18.5	17.0	18.2	23.5	最高	35.9
	最低	1.3	6.0	12.2	22.4	22.1	15.9	4.8	2.2	-2.9	-5.5	-4.6	-2.8	最低	-5.5
湿度	平均	73	73	83	80	85	87	84	84	80	71	76	74	平均	79
雨量	月間	45.0	133.0	135.0	86.5	160.0	142.0	104.5	21.0	13.0	0.5	66.0	69.5	合計	976.0

（注） 1. 雨量については総雨量を掲記
2. 単位は温度(℃), 湿度(%), 雨量(mm)

図 3－1－1 年間平均気温・年間総雨量経年変化

（測定地点：H28～有年中学校）

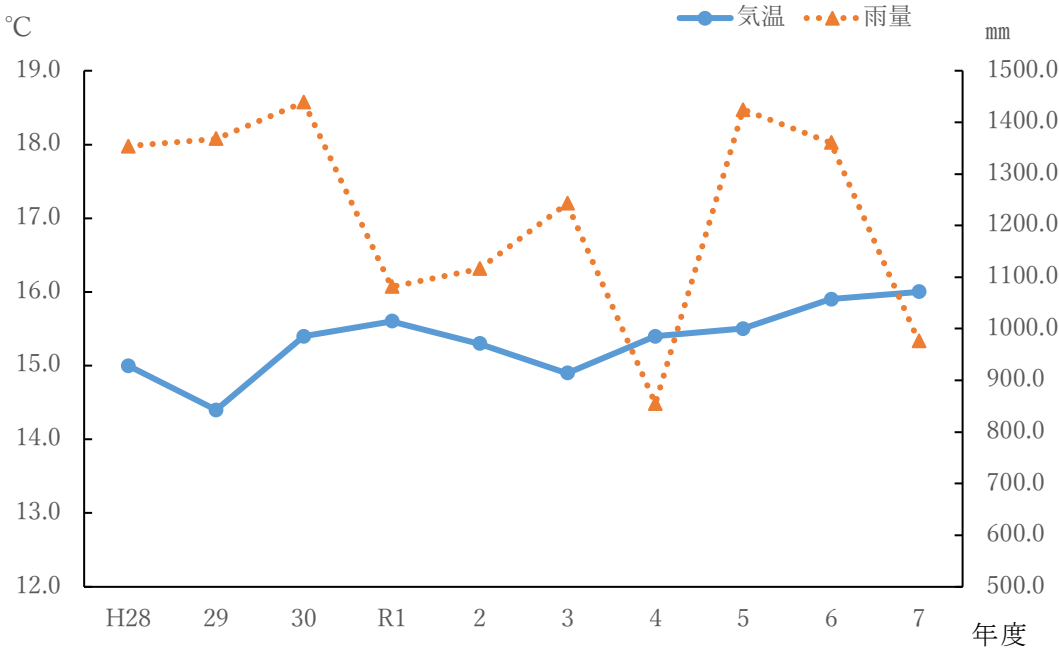


表 3 - 1 - 2 風向特性等解析表

(令和 7 年度)

解析項目\測定地点	市役所	塩屋監視局	尾崎監視局	天和監視局	坂越監視局
風向特性	ENE 卓越	N 卓越	NNW 卓越	WNW やや卓越	ENE 卓越
風速特性 (m/sec)	1.0～ 1.9 卓越	1.0～ 1.9 卓越	1.0～ 1.9 卓越	1.0～ 1.9 やや卓越	1.0～ 1.9 やや卓越
年間平均風速(m/sec)	2.4	1.9	2.1	1.9	2.1
静穏状態出現率(%)	2.8	4.2	4.0	4.7	1.8
風向別平均風速特性	WNW やや卓越	WNW やや卓越	SE やや卓越	SE やや卓越	SW やや卓越
解析項目\測定地点	高雄監視局	大津監視局	有年監視局	下水管理センター	
風向特性	N やや卓越	NW 卓越	S 卓越	NNE 卓越	
風速特性 (m/sec)	1.0～ 1.9 やや卓越	1.0～ 1.9 卓越	0.4～ 0.9 やや卓越	2.0～ 2.9 やや卓越	
年間平均風速(m/sec)	1.8	2.0	1.5	2.7	
静穏状態出現率(%)	2.6	3.1	10.9	1.1	
風向別平均風速特性	S やや卓越	SE, WNW やや卓越	S やや卓越	WSW やや卓越	

(注) 静穏とは、風速が 0.3m/sec 以下をいう。

表 3 - 1 - 3 年間平均風速

(令和 7 年度)(単位 : m/sec)

測定地点	市役所	塩屋監視局	尾崎監視局	天和監視局	坂越監視局
4 月 ～ 6 月	2.4	1.8	2.1	1.8	2.1
7 月 ～ 9 月	2.4	2.0	2.2	1.9	2.1
10 月 ～ 12 月	2.2	1.9	1.9	1.7	2.1
1 月 ～ 3 月	2.7	2.0	2.1	2.1	2.2
年 間	2.4	1.9	2.1	1.9	2.1
測定地点	高雄監視局	大津監視局	有年監視局	下水管理センター	
4 月 ～ 6 月	1.9	2.0	1.6	2.5	
7 月 ～ 9 月	1.7	1.8	1.5	2.6	
10 月 ～ 12 月	1.5	2.0	1.2	2.6	
1 月 ～ 3 月	1.9	2.3	1.6	2.9	
年 間	1.8	2.0	1.5	2.7	

表 3 - 1 - 4 風向別平均風速

(令和 7 年度)(単位 : m/sec)

測定地点\風向	N	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW
市 役 所	2.3	1.8	1.3	1.1	1.2	2.2	3.0	3.1	3.0	3.2	4.1	3.5	3.7	4.3	3.7	2.8
塩 屋 監 視 局	1.6	1.4	1.2	1.0	1.1	2.0	2.4	2.3	2.5	2.5	2.6	2.1	2.7	2.8	2.1	1.8
尾 崎 監 視 局	1.4	1.6	1.5	1.9	2.4	2.7	3.2	2.3	2.2	2.4	2.8	2.7	3.1	2.8	2.0	1.5
天 和 監 視 局	1.8	1.7	1.7	1.5	1.9	2.4	2.8	1.9	2.0	1.6	2.1	1.9	1.9	1.6	2.1	2.4
坂 越 監 視 局	1.9	2.1	2.0	1.9	2.0	1.8	1.8	1.6	2.2	2.7	3.1	2.7	2.0	2.0	1.5	1.5
高 雄 監 視 局	2.0	1.3	1.0	1.0	1.0	1.1	1.2	2.6	2.7	2.4	1.9	1.0	0.9	1.2	1.3	2.1
大 津 監 視 局	1.7	1.3	0.9	1.1	1.4	2.4	2.5	2.4	1.6	1.2	1.2	1.1	2.3	2.5	1.7	2.3
有 年 監 視 局	1.2	1.2	1.5	1.4	1.3	1.0	0.9	1.6	2.4	1.7	1.2	1.8	2.3	1.5	1.0	1.1
下 水 管 理 セ ン タ ー	1.9	2.1	2.0	1.7	1.9	2.1	3.2	2.8	2.6	3.4	4.0	4.4	3.8	2.8	3.0	2.7

図 3-1-2 年間風配図（令和 7 年度）

